



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 努め合い・学び合い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たしむしい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページ <http://osato-esaitama-city.ed.jp/>

メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和6年9月30日 第6号

自尊感情の大切さ

校長 新堀 栄

私の好きな俳優に「ムロツヨシ」さんがいます。コミカルで個性的な役が多い方ですが、大学は「理学部数学科」に入学していたとの話を聞き、自身と専門が同じため親近感をもつようになりました。また、あるインタビューで、『数学科に入ったものの、授業についていけない、将来やりたいことははっきりしない』、そんな時に芝居を見に行き、役者たちの演技に感動したことから、役者を目指し、大学を3週間でやめてしまったことにも驚きました。本人は、その時に、役者になれる「根拠のない自信」があったそうです。ここでは「根拠のない自信」と謙遜して語っていますが、「根拠のない自信」など存在しないのでは、と思います。きっと、根拠はもともと本人の中にあるもので、それが時に言葉で説明できなかつたり、周囲から見ると根拠になり得ないものだったりするのもかもしれません。

翻って、本校の子ども達に目を向けると、4月に実施された、6学年対象の「全国学力・学習状況調査」における『自分には良いところがある(自尊感情)』の質問項目で、肯定的な回答をした児童は、実に90.6%(埼玉県85.9%及び全国84.1%)と高い回答率を示しています。「自尊感情(self-esteem)」とは、自分自身を価値ある者だと感じる感覚であり、自分自身を好きだと感じることで、自分を大切に思える気持ちのことです。「自己肯定感」と訳されることもあります。さらに、本人が備えている「自信」と言っても良いと思います。誰でも長所があれば短所もあります。できることがあればできないこともあります。それらを全て含んで、自分がかげがえのない存在だと感じるのが、「自尊感情」です。この高い結果は、各ご家庭での高い教育力の賜物だと感謝しています。

では、どのようにすれば、子ども達の「自尊感情」を高めることができるのでしょうか。「自尊感情」は、その子のよさを誉めたり、達成感を味わわせたりすることで高められることが明らかになっています。つまり、家庭でも学校でもタイミング良く誉めることが「自尊感情」を高める一番の近道となるのです。

一方、同調査で「将来の夢や目標をもっている」の項目では、肯定的回答割合が、埼玉県及び全国値と比して少しだけ低い値となっています。もちろん、子ども達が控えめに回答していることもあろうかと思いますが、コロナ禍も終わりを告げ、将来の夢を大きく描ける今、中学生を見据え、自信をもって将来の夢を描いてほしいと切に願います。

同調査では、その他に、「規則正しい生活をしている」「家庭での約束を守る」「人が困っている時には助ける」等も、埼玉県値や全国値よりも非常に高い肯定的な回答割合を示しています。学校生活における質問項目でも「先生は、あなたの良いところを認めてくれる」「困りごとや不安がある時に、先生方にいつでも相談できる」、ひいては「学校に行くことが楽しい」等も、埼玉県値や全国値よりも非常に高い肯定的な回答割合を示しています。校長として、とても安心し、益々努力していかなければならないと、改めて襟を正したことは言うまでもありません。今後とも、よろしくお願いいたします。

※本日、9月30日は「明日(あす)も進むいのちの日」です。明日の講話朝会でAEDの機能説明と学校におけるAEDの置き場所についてお話する予定です。